

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第3回麻溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		麻溝まちづくりセンター 電話042-778-2381 (直通)		
開催日時		令和6年11月22日(金) 19時30分～21時40分		
開催場所		麻溝公民館 大会議室		
出席者	委員	19名(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	3名(麻溝まちづくりセンター所長ほか2名)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0名
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 あいさつ 2 議題 (1) 次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書の提出等について (報告) ア 市への要望書提出について イ 要望書の地域住民向けの周知について (ア) 市域情報紙12月1日号 (イ) 周知ちらし(案) (2) 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について ア 出席者について イ 主な懇談内容について ウ 当日の役割分担について (3) THIS FES '24 in Sagamihara について (4) 今後の予定について 3 情報交換(地域に関する課題や地域向けのイベント等について) 4 その他 5 閉会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(◎は会長の発言、○は委員の発言、□は麻溝まちづくりセンターの発言)

1 あいさつ

(1) 会長あいさつ

会議開催にあたり、麻溝地区まちづくり会議 中島会長よりあいさつした。

2 議題

(1) 次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書の提出等について（報告）

中島部会長より、資料1-1及び1-2に基づき、11月12日に市へ要望書を提出したこと及び地域住民向けの周知について報告した。

<主な意見>

○地域情報紙12月1日号の記事案について、「市との協議の進捗状況は随時お知らせします。」とあるが、随時とは。また手段は。(本多委員)

◎地域における各種会議や地域情報紙、自治会掲示板や公民館内掲示など、出来る限りの手段での周知を考えている。

○QRコードは、要望書の内容が見えるようになっているのか。(本多委員)

◎全文が読めるように、市連ホームページに掲載している。

◎まずは地域情報紙12月1日号にて周知を行い、その後に周知ちらしを作成し、自治会全戸配布などを展開していきたいと考えている。

= 一同異議なし =

(2) 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について

中島会長より資料2に基づき、地区まちづくりを考える懇談会の実施要領及び当日の流れについて説明した。

<主な意見>

◎地区の出席者は「まちづくり会議の委員」となっているが、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるとされている。今回は、最終処分場部会の部会員についても出席いただきたいと考えているがいかがか。

= 一同異議なし =

○要望項目3の地域要望策については、施設を造って終わりではなく、その後のスポーツの発展などを含めて検討してほしい。(五十嵐委員)

○要望項目1と2は要求になってしまうと思う。要望項目3は夢のある話なのでメインにやったらどうか。「まちづくり」をテーマとして11月21日に県知事とのフリートークイベントがあり、大変盛り上がっていた。若者たちにも参加してもらえたら

良いと思う。(伊藤委員)

○ごみ減量化対策の周知については、もっと工夫が必要と思う。女子美術大学に協力いただいて、ごみ収集車に「パッカー車がおなかいっぱい」に見えるようなペイント、一目で分かるような周知をしたら、注目を集めるのではないか。(五十嵐委員)

(3) THIS FES' 24 in Sagamihara について

まちづくりセンターより10月26日と27日に実施された音楽フェスについて、地域の方々のご理解とご協力へのお礼を伝えるとともに、実施後の意見聴取を依頼した。

<主な意見>

○開催されたことで市や地域のためになったのかどうか。迷惑の方が多いのならば、しっかりと対策を考えた方がよい。(安藤委員)

○当日、拝見した。アレキサンドロスのメンバーが何度も「相模原」と言ってくれていた。原当麻駅近辺の心配をしていたが大丈夫であった。(栗山副会長)

○参加者の分析はしているのか。市民の割合なども。(安藤委員)

○水道みち付近に住んでいる方やギオンスタジアムから少し離れた場所に住んでいる人には騒音に聞こえる。(山口委員)

○女子美術大学の学園祭への影響はほとんどなかった。南警察や警備の方々との調整もしっかりやっていたため、問題なかった。来場者のマナーもよく、若者のパワーを感じることができた。経済効果は不明だが、入試や学園祭と日程が重ならなければよいと思う。(友部委員)

○市PTAにも情報提供し、各地区で課題はなかったようだ。フェスの翌日、テレビでも取り上げられており、市としてもよかったと思う。(五十嵐委員)

○穏やかな音楽だったため、来場者も穏やかだったように感じる。(伊藤委員)

○アレキサンドロス以外でも相模原に関係する方もいた。テレビで取り上げられるのは、PRになってよいと思う。(箕輪委員)

◎ステージからマナー向上を呼び掛けていてよかった。

(4) 今後の予定について

麻溝まちづくりセンターより資料4に基づき、麻溝地区まちづくり会議の予定について説明した。

◎現在決まっているのは最終処分場部会を1月16日に、麻溝地区まちづくりを考える懇談会を2月10日に開催する予定となっている。第4回開催日程を1月24日としているが、処分場部会での協議進捗により開催日程を調整することとして良いか。

= 一同異議なし =

◎役員会で協議し、日程を決定次第お知らせする。

3 情報交換（地域に関する課題や地域向けのイベント等について）

○今まで児童通学の見守り活動を行って来ていた方が勇退されるため、自治会長が代わってくれることとなった。この場を借りてお礼を申し上げる。（五十嵐委員）

○原当麻駅周辺を花いっぱいにするプロジェクトを実施する。地域の皆様と協力しながら、進めていきたい。ご協力お願いします。（荒井委員）

◎ふるさとまつり来場者のアンケートまとめた。来場者の皆様には満足いただけたと思う。

○おもしろ防災まつり実行委員を募集しているので、興味がある方、協力していただける方、よろしくお願いします。（伊藤委員）

□シゲンジャーパーク見学会（11月30日）が開催される。まだ見学したことがない方など、この機会に是非見学していただければと思う。

4 その他

□2月6日及び7日の2日間、相陽中学校キャリア学習支援として、麻溝まちづくりセンターにて職業体験の受け入れを予定している。地域政策担当の仕事を学ぶ一環として、昨年度と同様に地域の活動団体との交流を予定している。希望される団体はお知らせください。

5 閉会

麻溝地区まちづくり会議 田村副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

麻溝地区まちづくり会議 委員名簿

No.	団体名	委員		まちづくり 会議での役職	出欠
		団体での役職	氏 名		
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長	出
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕		出
3	麻溝公民館	館長	田村 光弘	副会長	出
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長	欠
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	栗山 雄一	副会長	出
6	麻溝観光協会	副会長	内田 明		欠
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見		出
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次		出
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市		出
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	安藤 正義		出
11	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄		出
12	麻溝商工振興会	会長	石原 武		出
13	麻溝公民館運営協議会	委員	佐藤 文雄		出
14	相模原市スポーツ推進委員	委員	小原 隆		出
15	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆		出
16	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	座間 富治男		欠
17	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	川崎 敬一		出
18	麻溝小学校PTA	会長	井上 雄輔		欠
19	夢の丘小学校PTA	会長	五十嵐 康晴		出
20	相陽中学校PTA	副会長	原田 美佳		欠
21	当麻地区まちづくり委員会	会長	本多 展克		出
22	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一		欠
23	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿		出
24	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎		出
25	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀		欠
26	県立相模原支援学校	教頭	荒井 佑輔		出

令和6年度 第3回麻溝地区まちづくり会議 次第

日時 令和6年11月22日(金)

午後7時30分から

場所 麻溝公民館 大会議室

1 会長あいさつ 午後7:30~7:35

2 議題 午後7:35~8:35

(1) 次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書の提出等について(報告)

ア 市への要望書提出について

資料1-1

イ 要望書の地域住民向け周知について

(ア) 地域情報紙12月1日号

資料1-2

(イ) 周知ちらし(案)

(2) 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について

資料2

開催日時:令和7年2月10日(月)午後7時から

会場:麻溝公民館大会議室

テーマ:「次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書」について

ア 出席者について

イ 主な懇談内容について

ウ 当日の役割分担について

(司会・説明資料作成・事案説明・開閉会挨拶など)

(3) THIS FES'24 in Sagamiharatについて

(4) 今後の予定について

資料3

3 情報交換(地域に関する課題や地域向けのイベント等について)

午後8:35~9:00

4 その他

令和6年度 麻溝地区まちづくり会議委員名簿

No.	団体名	委員		まちづくり 会議での 役職
		団体での 役職	氏 名	
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕	
3	麻溝公民館	館長	田村 光弘	副会長
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	栗山 雄一	副会長
6	麻溝観光協会	副会長	内田 明	
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見	
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次	
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市	
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	安藤 正義	
11	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄	
12	麻溝商工振興会	会長	石原 武	
13	麻溝公民館運営協議会	委員	佐藤 文雄	
14	相模原市スポーツ推進委員	委員	小原 隆	
15	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆	
16	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	座間 富治男	
17	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	川崎 敬一	
18	麻溝小学校PTA	会長	井上 雄輔	
19	夢の丘小学校PTA	会長	五十嵐 康晴	
20	相陽中学校PTA	副会長	原田 美佳	
21	当麻地区まちづくり委員会	会長	本多 展克	
22	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一	
23	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿	
24	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎	
25	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀	
26	県立相模原支援学校	教頭	荒井 佑輔	

令和6年11月12日

相模原市長 本村 賢太郎 様

麻溝まちづくり会議
会長 中島 勝平

次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書

日頃より、地域のまちづくりに多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、麻溝地区にある現在の一般廃棄物最終処分場は、埋立容量を増やすため最大20mに及ぶ嵩上工事が計画されていますが、それでも現在のペースで埋立てを続けると、令和19年には満杯になると見込まれています。そのため、市は令和4年3月、現在の最終処分場に隣接する麻溝地区の2箇所を、津久井地区の2箇所とともに次期最終処分場候補地として選定しました。

麻溝地区まちづくり会議では、昨年5月に「最終処分場部会」を設置し、ごみの更なる資源化・減量化や地域の将来を見据えながら、この問題への対応について検討しています。多くの課題があるにもかかわらず、市では次期最終処分場候補地の絞り込みに向けた手続きが進められており、麻溝地区の候補地が最も有力な候補地とされる可能性も排除できないため、最終処分場部会での議論を踏まえ、麻溝まちづくり会議として次の各項目について要望することとしたものです。

【 要望項目 】

1 次期最終処分場の次の最終処分場は造らないこと

市内に最終処分場用地の確保が困難であり、埋立ゼロを実現すること。

2 更なるごみの資源化・減量化を推進すること

要望項目1の達成に向け、次の内容を踏まえたロードマップを提示すること。

- ①最終処分場の整備が難しいことを市民にきちんと知らせること。
- ②家庭から排出されるごみを大幅に削減するため、4Rを推進するとともに有料化や戸別収集の実施等を検討すること。
- ③最終処分場への埋立量を大幅に削減するため、ごみ処理段階での資源化を推進すること。

3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること

従前から要望している県道52号の4車線化、路線バスの利便性向上を推進するとともに、最終処分場の跡地利用や麻溝公園周辺のまちづくり等に関するワーキンググループを組織し、話し合った地域振興策を実現すること。

なお、仮に次期最終処分場の最終候補地に麻溝地区の候補地が選定された場合には、以降は麻溝地区に最終処分場を造らない旨の誓約書を提出すること。

■ 各項目の説明

1 次期最終処分場の次の最終処分場は造らないこと

4箇所の次期最終処分場候補地は、市内に最終処分場に適した場所がなかったことから、様々な対策等を講じて整備できる可能性のある場所として選ばれたに過ぎません。いずれの候補地も地域にとっては大切な土地であり、本来は候補地となるような場所ではありません。多摩地域では埋立ゼロを実現しており、本市でも次期最終処分場を最後の最終処分場とするため、真剣に取り組む必要があります。

2 更なるごみの資源化・減量化を推進すること

①最終処分場の整備が難しいことを市民に知らせること。

市は、この先市内に最終処分場を整備していくことが難しいという事実をきちんと周知しておらず、多くの市民は、最終処分場の問題が切迫し、危機感を持って更なるごみの資源化・減量化に取り組む必要があることを理解していません。すべての市民に対し、あらゆる機会を通じて啓発すべきです。

②家庭から排出されるごみを大幅に削減すること。

近年の異常気象の原因と言われる地球温暖化防止の観点からも、脱炭素社会の実現に向けた取組は重要であり、ごみの資源化・減量化には最優先で取り組むことが求められています。ごみを出さない人はひとりもおらず、誰もが自分事として考えなければならない問題ですが、残念ながら、未だに「ごみは集積所に出しさえすれば、市が無料で処理してくれる」と思っている市民が多いのが現実です。4Rの推進だけでなく、ごみに対する市民の意識を変え、痛みを共有しながら行動に移してもらえる有料化等の新たな施策の実施が、今こそ必要ではないでしょうか。

③最終処分場への埋立量を大幅に削減すること。

現在の最終処分場の延命化及び次期最終処分場のダウンサイジングを図り、次期最終処分場を最後の最終処分場とするため、②の取組に加え、熔融スラグの更なる活用や焼却残渣の資源化等の施策を推進していく必要があります。

3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること

ごみ処理施設が集中し、これまで市内全域のごみを受け入れてきた麻溝地区としては、更に麻溝地区だけが負担を強いられる形で次期最終処分場を受け入れることには疑問の声が多々あります。単に「市民生活に必要な施設だから」というだけでは受入れはできません。どんなに立派な施設を造ったとしても、所詮は迷惑施設に変わらないということも理解すべきで、補償という観点から地域の振興策を併せて提示する必要があります。

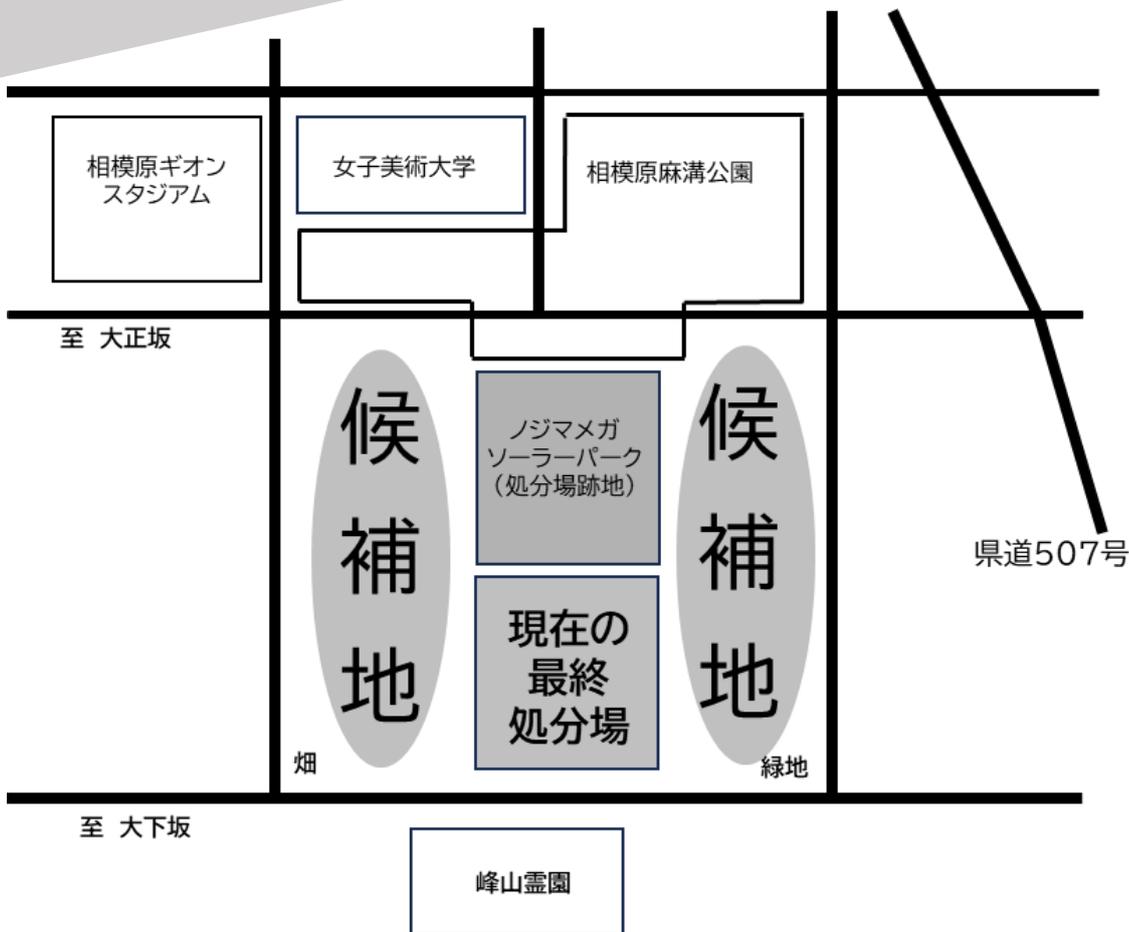
◆麻溝地区として、これまで要望してきている県道52号の4車線化の早期実施、行財政構造改革プランで中止となったJR原当麻駅と小田急相模大野駅間を結ぶ新交通システム(BRT)の代替策とされた同区間の路線バスの充実、JR原当麻駅と女子美術大学・麻溝公園を結ぶ直通バスの運行等について推進していただきたい。

◆現在の最終処分場の跡地利用について、市は埋立終了時の形状を活かした公園として整備したいとしていますが、最終処分場の跡地を含めた麻溝公園周辺地域については、防災公園や屋根付屋外スポーツ施設等の整備を求める声も地域にはあり、麻溝の豊かな自然を活かした一大レクリエーションゾーンとする方向で、地域とともに検討していただきたい。

～現在の最終処分場は令和19年に満杯になってしまいます～

次期最終処分場(ごみ埋立地)候補地
市長に要望書を提出

麻溝にまた **最終**



◎候補地はどれ? 麻溝と津久井で計4か所です

麻溝地区が最も有力な候補地とされる可能性も排除できないため、まちづくり会議*で対応について検討を重ねて令和6年11月12日付けで市長に要望書(⇒)を提出しました。

*各地区のまちづくりの課題解決に向けた活動に協働して取り組むための会議で、自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、公民館、学校、PTA など地域団体が構成されています

処分場が来ちゃうの？

【要望項目】



- 1 次期最終処分場の次の最終処分場は造らないこと**
市内に最終処分場用地の確保が困難であり、埋立ゼロを実現すること。
- 2 更なるごみの資源化・減量化を推進すること**
要望項目1の達成に向け、次の内容を踏まえたロードマップを提示すること。
 - ①最終処分場の整備が難しいことを市民にきちんと知らせること。
 - ②家庭から排出されるごみを大幅に削減するため、4Rを推進するとともに有料化や戸別収集の実施等を検討すること。
 - ③最終処分場への埋立量を大幅に削減するため、ごみ処理段階での資源化を推進すること。
- 3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること**
従前から要望している県道52号の4車線化、路線バスの利便性向上を推進するとともに、最終処分場の跡地利用や麻溝公園周辺のまちづくり等に関するワーキンググループを組織し、話し合った地域振興策を実現すること。
なお、仮に次期最終処分場の最終候補地に麻溝地区の候補地が選定された場合には、以降は麻溝地区に最終処分場を造らない旨の誓約書を提出すること。

現在、候補地の絞り込みに向けて、麻溝地区では堆積物等について調査が行われています。市との協議の進捗状況については随時お知らせします。

【この記事へのお問い合わせは】

麻溝地区まちづくり会議

麻溝まちづくりセンター内 ☎ 042-778-2381 FAX 042-778-2249

令和6年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領

1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

3 開催単位

実施希望地区のみ年1回1会場までとする。

4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

5 開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は原則午後6時からとし、協議により変更可能とする。

(まちづくり会議側からの希望がある場合は、昼間の実施も可能とする。)

6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね1時間30分とする。

7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長（市長公室長含む。）及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等で対応できない場合がある。

8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（二つ以内）。

【テーマの考え方】

- ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
- イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

令和6年度 地区まちづくりを考える懇談会の流れ

- (1) 開会（まちづくり会議委員）
- (2) 出席者の紹介（まちづくり会議委員・市側出席者）
- (3) まちづくり会議代表あいさつ
- (4) 市長あいさつ
- (5) 懇談

※議論の視点「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何か
という視点から建設的な懇談の場とする。

- ・テーマの内容をまちづくり会議から説明（パワーポイント、資料等）
- ・テーマに関連する市や区の実践等について説明（関連する区長、局長等）
- ・テーマについての懇談
- ・まちづくり会議代表あいさつ

- (6) 市長あいさつ（感想）
- (7) 閉会

令和6年度 麻溝地区まちづくり会議等 開催日程

会議名	日時	会場
次期一般廃棄物 最終処分場候補地 (緑区根小屋) 視察	4 月 19 日 (金) 午前10時00分～	緑区根小屋
①最終処分場部会	4 月 23 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
②最終処分場部会	5 月 10 日 (金) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
第1回全体会	5 月 24 日 (金) 午後7時30分～	麻溝公民館 大会議室
③最終処分場部会	7 月 16 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
④最終処分場部会	8 月 19 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
第2回全体会	9 月 17 日 (火) 午後7時30分～	麻溝公民館 大会議室
⑤最終処分場部会	9 月 27 日 (金) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
次期一般廃棄物 最終処分場に係る要望書 市長へ提出	11 月 12 日 (火) 午後2時00分～	相模原市役所 第2応接室
⑥最終処分場部会	11 月 12 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
第3回全体会	11 月 22 日 (金) 午後7時30分～	麻溝公民館 大会議室
⑦最終処分場部会	1 月 16 日 (木) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
第4回全体会	1 月 24 日 (金) 午後7時30分～	麻溝公民館 大会議室
まちづくりを考える 懇談会	2 月 10 日 (月) 午後7時00分～	麻溝公民館 大会議室

※第4回目以降の全体会は、別途日程調整し、開催

※全体会とは別日に、役員会を適宜開催

シゲンジャーパーク見学会

(一般廃棄物最終処分場)

私たちのごみ、
どうなってるか
知ってる？



清掃工場で燃やしたあとの灰などを埋め立てる一般廃棄物最終処分場（愛称：シゲンジャーパーク）は、令和19年度に埋め立ての限界を迎える見込みです。

見学会では、場内約2kmを歩いて、現在埋め立てを行っている第2期整備地や、埋め立てが終わりソーラーパネルを設置しているノジマメガソーラーパークなどを見学します。

日時

令和6年11月30日(土) 午前10時～正午

募集人数

20名(抽選) 抽選結果は11月20日(水)発送予定

応募方法

11月18日(月)までに、直接か電話、FAX、Eメールに次の項目を書いて清掃施設課へ。

①催し名「シゲンジャーパーク見学会」、②参加人数、③参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号

問合せ先

相模原市 環境経済局 清掃施設課

相模原市中央区中央2-11-15市役所本館6階

電話 042-769-8246(平日8:30～12:00、13:00～17:15)

FAX 042-769-4445

Eメール seisou-shisetsu@city.sagamihara.kanagawa.jp